



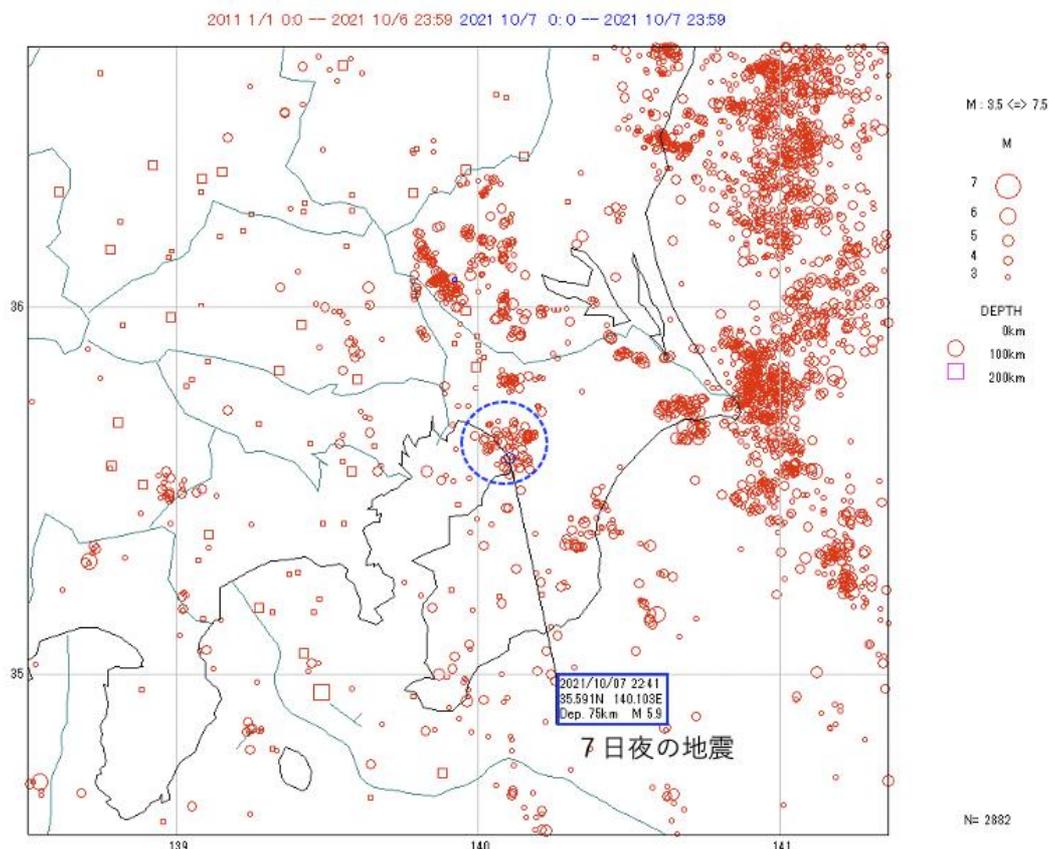
千葉県北西部で震度5強を観測する地震が発生

7日22時41分ごろ、東日本大震災以降、初めて東京で震度5強を観測する地震が発生しました。



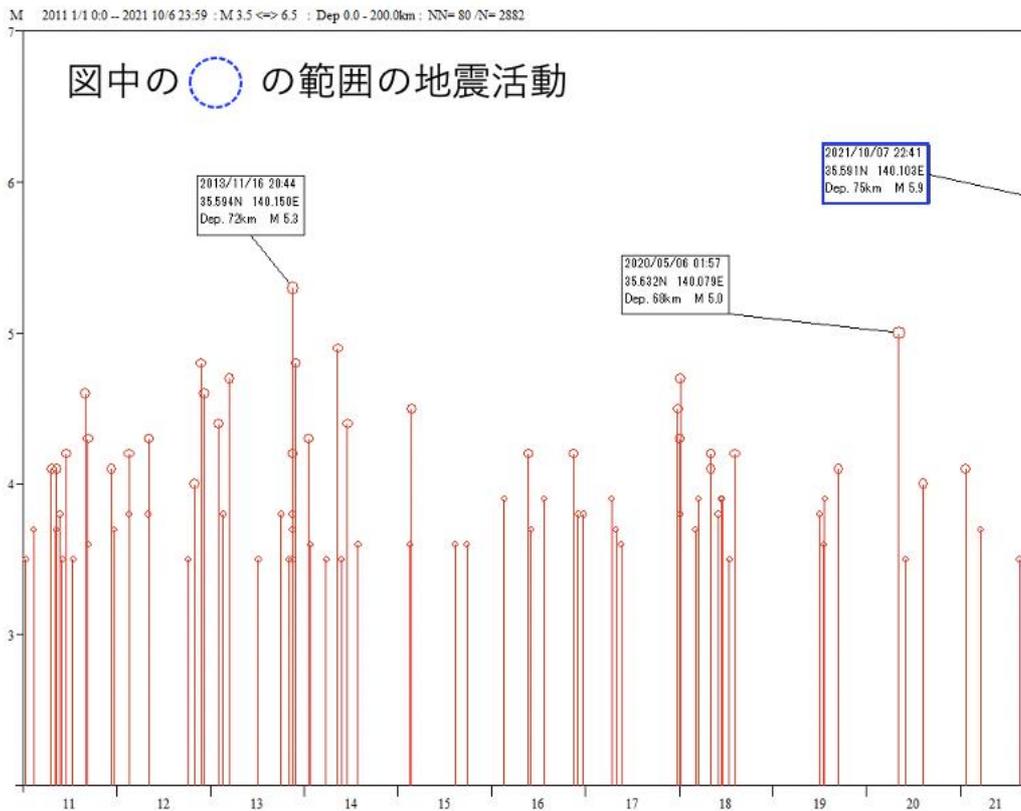
震源は当初マグニチュード6.1、深さ80kmと発表されましたが、その後の改定で、現在はマグニチュード5.9、深さ75kmと修正されています。

次の図は今回の地震を含む関東地方の地震活動です。2011年以降を図示しています。ご覧になってわかりますように、千葉県北西部は“地震の巣”と呼ばれている地域です。その他に地震の巣として有名なのは茨城県西部地域があります。





次にお示しする図は青点線で囲った地域でどのような時系列で地震が発生してきたかを示したものです。過去10年では最大の地震であった事がわかります。



### 今後の推移

地下天気図解析で地震活動静穏化領域の大きさを考えますと、マグニチュード6.5程度の地震が今後1ヶ月以内に発生する可能性は残されていると思います。ただパラメータを変更した地下天気図解析結果も考慮しますと、マグニチュード7を大きく超える地震が発生する可能性は極めて低いと推察します。

いずれにせよ、日本の住宅は(きちんと建ててあれば)この程度の揺れではびくともしません。ただ水道やガスといったインフラの老朽化は今後日本の大きな問題となっていくそうです。

最新のアニメーション等を東海大学 地震予知・火山津波研究部門のホームページに掲載しました。

<http://www.sems-tokaiuniv.jp/EPRCJ/>